

平成31年度B日程
学力検査問題

⑤

社 会

注 意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて7ページで、問題は**1**から**3**まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて解答用紙の指定された欄に書きなさい。

受 檢 番 号

- 1 次の略年表を見て、下の1～7の問い合わせに答えなさい。

略年表

西暦	できごと	
239年	邪馬台国の女王卑弥呼が X に使いを送る	
939年	① 藤原純友の乱が起こる	A
1016年	藤原道長が ② 摂政となる	B
1221年	承久の乱が起こる	
1573年	③ 織田信長が室町幕府をほろぼす	C
1639年	ポルトガル船の来航が禁止される	
1825年	異国船打払令（外国船打払令）が出される	
1874年	④ 民撰議院設立建白書が提出される	D
1950年	⑤ 朝鮮戦争が始まる	

- 1 年表中の X に当てはまる国名として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 殷 イ 魏 ウ 隋 エ 明

- 2 年表中の下線部①に「藤原純友の乱が起こる」とあるが、藤原純友の乱が起こった10世紀の我が国の文化について述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 近松門左衛門が、人形浄瑠璃の台本の作者として活躍した。
 イ 雪舟が、日本の風景を水墨画で描いた。
 ウ 歴史書である『日本書紀』がつくられた。
 エ 紀貫之らによって『古今和歌集』がまとめられた。

- 3 年表中の下線部②に「摂政」とあるが、平安時代は、摂関政治や院政などの政治が行われていた。10世紀中ごろから11世紀前半にかけての摂関政治は、摂政や関白が天皇のそばで政治を主導するものであった。その後、1086年に院政が始まったが、この院政とはどのような政治か、簡潔に書け。

- 4 年表中の下線部③の「織田信長」は、武力による天下統一をめざした。織田信長が行ったことについて述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 抵抗する仏教勢力と対立し、比叡山延暦寺を焼きうちにした。
 イ 楽市・楽座の政策をとり、商工業の発展をはかった。
 ウ 日宋貿易を進めるために、瀬戸内海の航路を整備した。
 エ 長篠の戦いで、鉄砲を活用した戦法によって武田軍を破った。

5 年表中の下線部④の「民撰議院設立建白書」は、人々の意見を政治に反映させるために、国会の早期開設を要求したものである。この建白書を政府に提出した人物を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 板垣退助 イ 吉野作造 ウ 岩倉具視 エ 伊藤博文

6 年表中の下線部⑤の「朝鮮戦争」が始まった翌年、我が国はサンフランシスコ平和条約を結んだ。同時に、アメリカとある条約を結び、この条約によって、国内にアメリカの軍事基地が残ることになった。このアメリカと結んだ条約を何というか、書け。

7 次の資料Iは、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に決定したことを伝える2018年7月1日の新聞である。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」には、島原・天草一揆の主戦場であった原城跡も含まれている。この島原・天草一揆が起ったのは、年表中のA～Dのどの時期に当たるか、A～Dから一つ選び、その記号を書け。

資料I

著作権保護のため掲載していません。

2 次の1～4の問い合わせに答えなさい。

1 あきらさんは、人権に関する条約について調べたことをノートにまとめた。次の資料Iは、そのノートの一部である。この資料を見て、下の(1)～(3)の問い合わせに答えよ。

資料I

【人権に関する条約】

○国際社会において、人権を尊重するためにさまざまな①条約が結ばれている。

条約名	採択年	日本の批准年
国際人権規約	1966	1979
② 女子差別撤廃条約	1979	1985
③ 児童の権利条約	1989	1994
障害者権利条約	2006	2014

(1) 資料I中の下線部①に「条約」とあるが、次の文は、我が国の条約の締結について述べたものである。文中の X・Y に当てはまるところの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。

条約は、X が締結する。ただし、条約の締結には、事前に、場合によっては事後に、Y の承認が必要である。

- ア X - 裁判所 ヨ Y - 国会 イ X - 国会 ヨ Y - 内閣
ウ X - 内閣 ヨ Y - 国会 エ X - 内閣 ヨ Y - 裁判所

(2) 資料I中の下線部②に「女子差別撤廃条約」とあるが、次の文は、男女の人権の尊重を基本理念の一つとしている我が国のある法律について述べたものである。この法律の名称として正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。

この法律は、男性と女性が対等な立場であらゆる社会活動に参加し、ともに責任をなう社会の実現をめざして、1999年に公布・施行された。

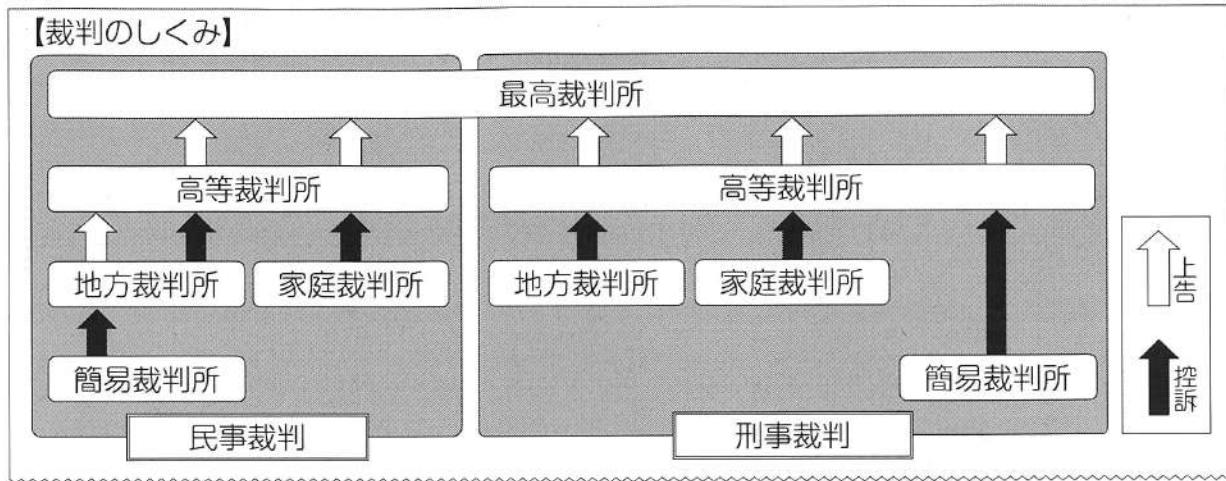
- ア 男女共同参画社会基本法 イ 労働基準法
ウ 育児・介護休業法 エ 男女雇用機会均等法

(3) 資料I中の下線部③に「児童の権利条約」とあるが、国際連合の機関である国連児童基金は、子どもの権利を守るために、教育支援などの活動をしている。この国連児童基金の略称として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア ASEAN イ UNICEF ウ NPO エ WHO

- 2 ひかるさんは、我が国の裁判のしくみについて調べ、その内容をノートにまとめた。次の資料Ⅱは、そのノートの一部である。我が国では、裁判を慎重に行って、国民の権利を守るために、一つの事件について原則として3回まで裁判を受けられるしくみがとられている。このしくみを何というか、書け。

資料Ⅱ



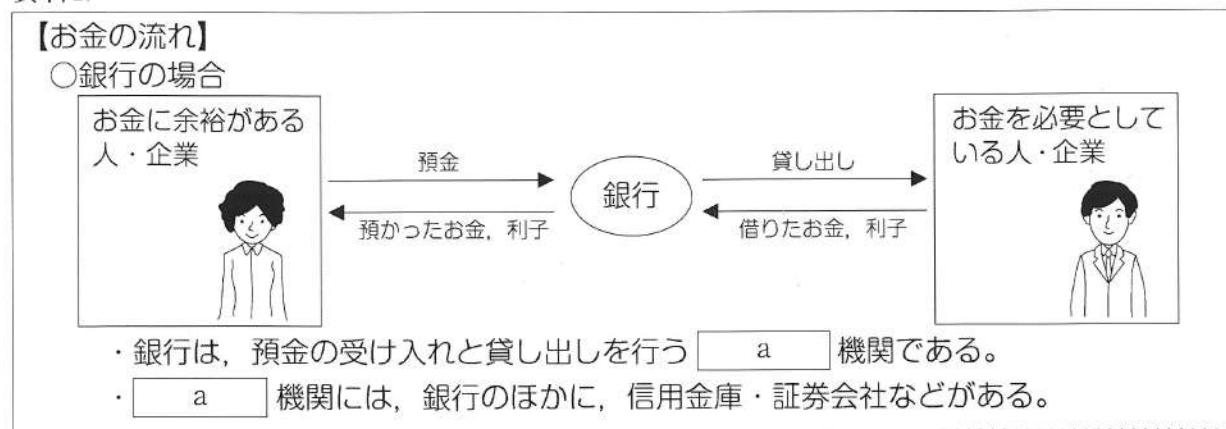
- 3 右の資料Ⅲは、我が国の内閣総理大臣が、消費税率引き上げの方針を表明することを伝える2018年10月15日の新聞である。税金は、直接税と間接税に分類され、消費税は間接税の一つである。間接税とはどのような税金か、「税を負担する人」と「税を納める人」の二つの語を使って、簡潔に書け。

資料Ⅲ

著作権保護のため掲載
していません。

- 4 ゆうきさんは、銀行などに預けたお金の流れについて調べ、その内容をノートにまとめた。次の資料Ⅳは、そのノートの一部であり、資料中の [a] には、同じことばが入る。この [a] に当てはまる言葉を書け。

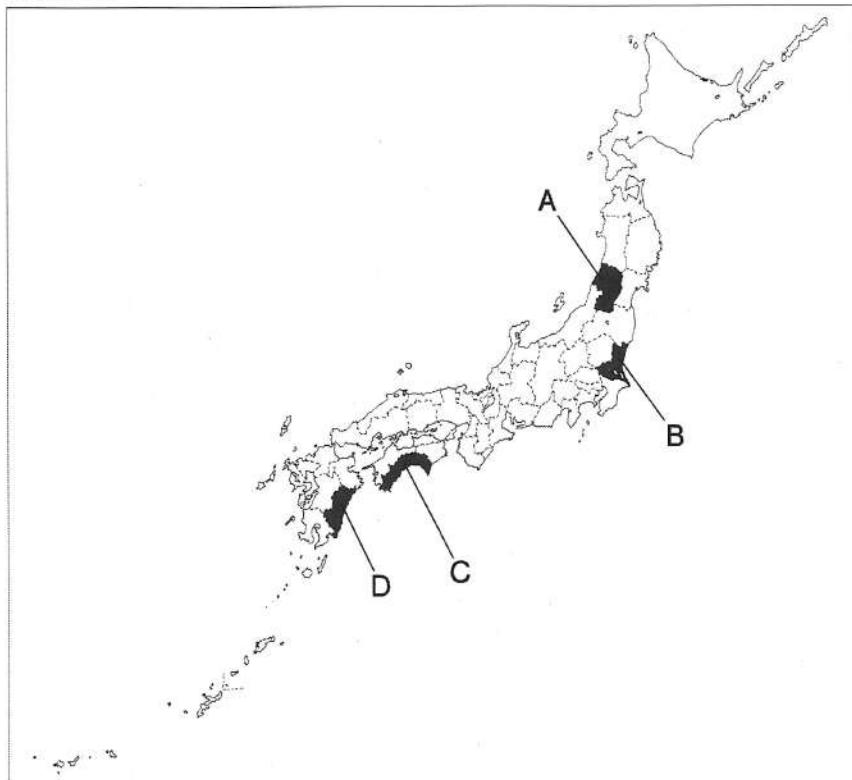
資料Ⅳ



3 次の1~4の問い合わせに答えなさい。

1 次の略地図Iを見て、下の(1)・(2)の問い合わせに答えよ。

略地図I



(1) 次の資料Iは、略地図I中の●で示したA～Dの各都道府県の2015年における、米、野菜、果実、畜産の產出額をそれぞれ表したものである。略地図I中のBで示した都道府県の米、野菜、果実、畜産の產出額を表しているものを、資料中のア～エから一つ選び、その記号を書け。

資料I

(単位 億円)

	米	野菜	果実	畜産
ア	694	1 890	127	1 290
イ	96	622	100	85
ウ	752	383	673	368
エ	157	777	142	2 094

(データでみる県勢2018年版による)

(2) 次の文は、やませと呼ばれる風について述べたものである。文中の□a・□bに当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。

やませは稲の生长期にあたる、おもに6月から8月にかけて、東北地方の□a側を中心に吹く□bの冷たい風のことである。やませの影響を強く受けると、稲が十分に育たず、米の収穫量が減少することがある。

ア a - 日本海

b - 北西

イ a - 日本海

b - 北東

ウ a - 太平洋

b - 北西

エ a - 太平洋

b - 北東

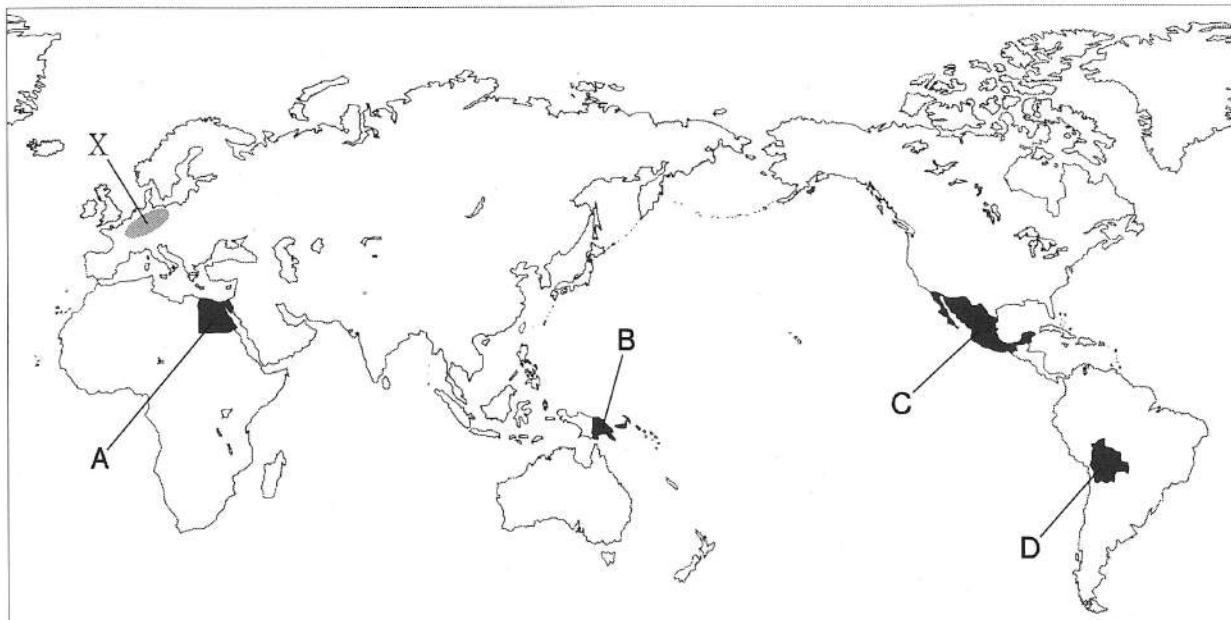
2 次の資料Ⅱは、壁面を緑化した建物である。このように建物の壁面や屋上を緑化することは、ヒートアイランド現象の対策の一つとして進められている。ヒートアイランド現象とはどのような現象か、「都市」と「周辺地域」の二つの語を使って、簡潔に書け。

資料Ⅱ

著作権保護のため掲載していません。

3 次の略地図Ⅱを見て、下の(1)・(2)の問い合わせに答えよ。

略地図Ⅱ



- (1) 略地図Ⅱ中の () で示したA～Dはそれぞれ、エジプト、パプアニューギニア、ポリビア、メキシコのいずれかの国を表している。略地図Ⅱ中の () で示した国のうち、「南緯16度、西経68度」で表される地点がある国を、略地図Ⅱ中のA～Dから一つ選び、その記号を書け。
- (2) 略地図Ⅱ中の () で示したXの地域では、小麦やライ麦といった穀物などの栽培と家畜の飼育を組み合わせた農業が発達した。このような農業を何というか、書け。

- 4 次の資料Ⅲは、2016年の我が国における、石炭と鉄鉱石の国別の輸入量の割合をそれぞれ表したものである。資料中の [c] には同じ国名が入る。この [c] に当てはまる国名として正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。

資料Ⅲ

(単位 %)

石 炭	c	64.0	インドネシア	ロシア	その他
	17.1				
鉄鉱石	c	59.5	ブラジル	カナダ	その他
	27.6			4.2	

(データブック オブ・ザ・ワールド 2018年版による)

ア サウジアラビア

イ 中国

ウ オーストラリア

エ アメリカ合衆国